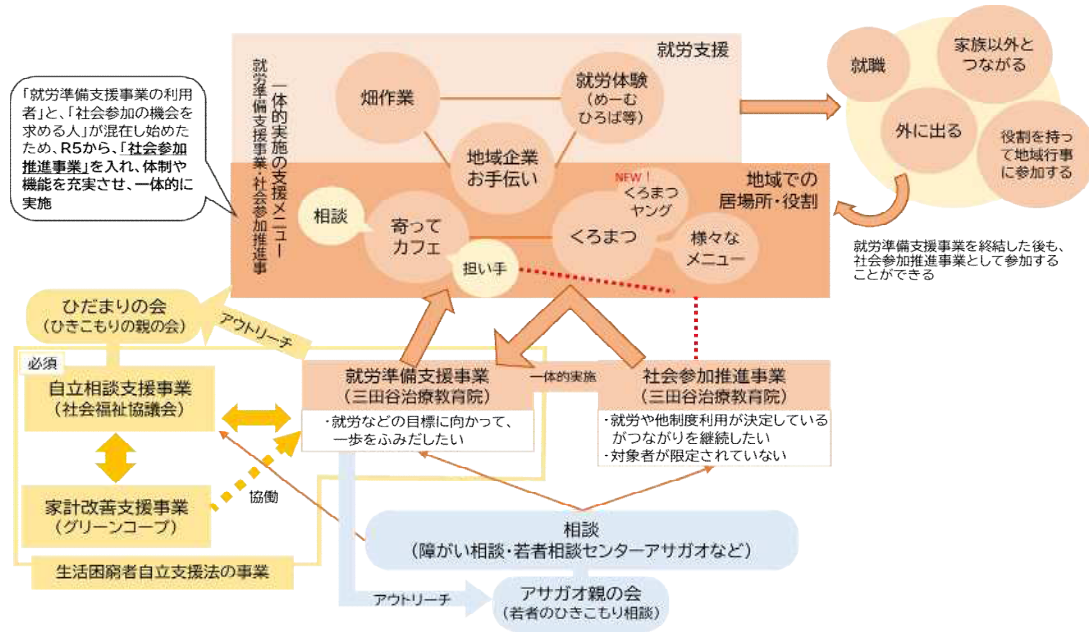


■就労準備支援事業と社会参加推進事業について



●つどい場「くらまつ」

各プログラムの意味合い・目的

体操教室	就労面：就労に向けた体づくり。運動することで睡眠の質の向上や生活リズムを整える。 社会参加面：体操への参加を通じて他者と関わる機会がもてる。
PC教室	就労面：就労する上で必要な基本的なPCスキルを学ぶ 社会参加面：PCに興味があるが普段PCに触れる機会がない、または少ない方が気軽に参加できる。
お花見	就労面：イベントや行事と一緒に参加しながらコミュニケーションをとる練習になる。 社会参加面：家族以外の他者と季節を感じながら外出する機会になる。

R6年度・R7年度		居場所メイン					就労メイン			個別支援
		つどい場「くらまつ」	くらまつヤング	寄ってカフェ	アサガオ親の会	ひだまりの会	畑作業	植栽作業	めーむひろば	
実績	実施回数 開催日時・頻度等	【R6】 月曜日の午前中に実施。40回実施し、延べ159人参加 【R7】 15回実施。延べ73人参加。	【R7】 4回実施。延べ10名参加。	【R6】 計12回実施。延べ136人参加。これまで相談する側だった参加者が担い手として月に1~2名程度参加している。 【R7】 計4回実施。延べ37人参加。	【R6】 2回参加 【R7】 2回参加	【R7】 4回参加	【R6】 2カ所で実施。延べ84名が参加 【R7】 延べ41人参加	【R6】 年7回実施	【R6】 保健福祉センターにて「めーむひろば」を毎週水曜日に実施。就労体験を経て3人が就労につながった。 【R7】 めーむひろばを経て1名が就職し、1名が店舗実習に参加。	【R6】 1件の訪問支援（アウトリーチ）を自立相談支援事業担当者と連携して実施。 【R7】 2件の訪問支援（アウトリーチ）を自立相談支援事業担当者として実施。
評価	就労準備支援事業	Excel、ワード、パワーポイントなど就労に向けた基礎的なPCスキルをそれぞれのペースに合わせて学ぶ場になっている	就職に向けたプログラムもあり、同年代で意見交換する機会になっている。		不登校の子を持つご家族や、成人してひきこもり状態のご家族と関わる機会を持つことができ、事業や相談窓口について案内することができた。	ひだまりの会に参加しているご家族を通じてひきこもり当事者の方が作ったTシャツを販売し、間接的に関わりを持つ機会ができた。	就労に向けた体づくりや生活リズムを整える場となっている。	地域企業とのつながりや関わりがあることで、参加者の中で「やってみようかな」という気持ちになり、行動に起こす機会になっている。	就労に向けたアセスメントの場になったり、就労のイメージを持てるような場となっている。	定期的な訪問支援（アウトリーチ）することで、ご家族や当事者の近況を知る機会になっている。
	共通	家にひきこもり気味だった方が福祉サービス利用に至るケースや、就労体験、就職など次に進むきっかけとなっている。	若年層向けのくらまつを実施することで、若年層のニーズや考えを知る機会になっている。	寄ってカフェに担い手として関わることで、役割を持って他者と関わる機会が持たれた。		ひだまりの会に参加することで、当事者の方の近況をご家族を通じて知る機会になっている。	利用者の活動へのモチベーションが上がり、次のステップへ進むきっかけとなっている。	企業とのつながりが広がることで参加者の方と地域をつなぐ機会になっており、一歩を踏み出すきっかけとして大きな役割を担っている。	次のステップに進むことが出来たり、就労につながることで、定期的な就労体験ができる場があることで、参加者の外に出るきっかけになっている面がある。	
	社会参加推進事業	・自宅から出にくい方とオンラインを通してお花見に参加して頂くなど工夫して参加者同士が関わることでできた。 ・就職後の社会参加や職場や生活の相談ができる場となっている。	少人数で関われる同年代のグループとして、若年層の社会参加の場の一つとなっている。				定期的な畑作業に参加することで、「外に出るリズムができた。」という感想を頂いている。	植栽作業を通して、利用者が外に出るきっかけになっている。	役割をもって参加できる社会参加の場になっている。	